

自分たちのまちを守る消防団

清流の国ぎふ
マスコットキャラクター
ミナモ



清流の国ぎふ
ミナモ通信

さまざまな活動を展開する 消防団をサポート！

「自分たちのまちを自分たちの手で守る」を理念に、地域住民の生命・身体・財産を守るため市町村が設置している消防機関「消防団」。岐阜県内には44の消防団があり、約2万人が消防団員として活躍しています。全国的に見て団員の数は減少傾向にあり、高齢化の影響も受けています。そのため県では地域をあげて消防団等をもりあげようとさまざまな制度を導入。社会人男性だけでなく、女性や学生などにも入団を進めたり活動の充実に力を入れています。

■問／県消防課 ☎058(272)1122

団員数増加が認められ 総務大臣感謝状授与

消防団員数が減少傾向にあるなか、総務省消防庁では平成26年4月から27年4月にかけて多くの消防団員を増加させた団体に「総務大臣感謝状」を贈りました。全国で22団のみが受け、県内では関市、羽島市、そして中津川市消防団が選ばれています。3市消防団では学生隊を発足したり災害支援団員を増加させたり、女性団員の入団を促すなどさまざまな取り組みがありました。そのほかの消防団でも、日頃から地域の消防力・防災力向上のための訓練や地域での指導をおこない災害時には住民の生命や財産をまもるために消防活動、救助活動をしています。

▼総務大臣感謝状授与式



家庭、仕事と両立しながら 自分にできることで地域貢献



中津川市消防団は約1年前に女性消防団員の募集を開始。現在30人が入団し活動しています。3人の子どもの母親である菱田理世さんは、「中津川で子育てをして、地域に大変助けられました。次は私が地域に恩返ししたいと考えていた」と話し、ちょうど女性消防団の募集があり参加を決めました。「仕事が忙しくても、できることがある」と話すのは富田真衣さん。平日の夜間、講習などに足を運び防災や救急について学んでいます。「地域の人に顔を知ってもらい、制服を覚えてもらうことが大切」と話す二人。消防団がいることで、地域の防災力があがり、災害に強いまちができていきます。

子どもの防災教室を開催できると良いと考えています。何か人の役に立ちたいと考えている人、一緒に活動しませんか

仕事をしている私でも活動ができます。家庭や仕事などと両立して、できることから始めている団員が多いですよ



菱田理世さん

富田真衣さん



▲普通救急救命講習を受けています



▲中津川市女性消防団



消 防 団 を 地 域 で 応 援 ！

消防団の活動に参加することでさまざまなサポートを受けることができます。



ありがとね! 消防団水防団 応援事業所制度



団員のみなさんは消防団活動を応援する地元店舗や施設で割引サービス等を受けることができます。

このステッカーがある店舗・施設で「ありがとね! 消防団水防団応援事業所制度」のサービスを受けることができます

消防団協力事業所支援減税制度 (平成28年4月開始予定)

一定の要件を満たす法人または個人については法人事業税、個人事業税の控除が受けられます。

企業・店舗の参加について詳しくは

岐阜県 消防団

検索